

公益社団法人 大和高田市シルバー人材センター

平成30年度 事業報告

我が国経済は、平成24年12月以降緩やかな回復基調が続いており、雇用情勢は大きく改善して、30年11月には、有効求人倍率は44年ぶりの高水準である1.63倍、失業率は25年ぶりの低水準である2.5%となっています。ただ一方で、企業における人手不足が顕在化しております。

こうした中で、政府が同年にまとめた「経済政策の方向性に関する中間整理」において、生涯現役社会の実現に向けて、意欲ある高齢者に働く場を準備するため、希望する高齢者については70歳までの就業機会の確保を図りつつ、それぞれの高齢者の希望・特性に応じた活躍のため、多様な選択肢を許容し、選択ができるような仕組みを検討するとしています。

このように高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センター事業の重要性と各シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待はますます大きなものとなっています。

したがって、当シルバー人材センターも、これらの期待に応えるため、平成30(2018)年度においても、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、一丸となり事業推進に取り組んだところです。

その結果、事業運営面の実績につきましては、請負・委任に係る契約金額は対前年度比2.6%増に、受託事業件数も前年度比6.5%増と順調に伸びております。ただ、就業率については0.6ポイント減少いたしました。

また、労働者派遣事業につきましては、受注件数は前年度に比べて9件増の22件、契約金額も約8.1%増と確実な伸びを示しております。

一方、会員数については、男性会員の数は昨年度を若干上回ったものの、女性会員はわずかですが減少しています。

安全就業につきましては、就業現場への見回り回数を増やしたり、研修会やコンテストへの参加等安全対策に努めましたが、重篤な事故には至らなかったものの就業における傷害事故が3件発生いたしました。また、就業中の賠償事故が5件起こっており、残念ながら、傷害・賠償を問わず事故は減っていない状況です。

「安全は最優先」であることから、今後ともより一層会員、役員及び事務局

職員が互いに協力して、さらなる安全就業の徹底と事故防止対策に努めます。

また、公益法人として、これまでどおり関係法令を遵守し、公平かつ適正な就業を推進いたしました。

以下、平成30年度事業の概要について報告いたします。

1. 会員数（平成31年3月末現在）

男性会員	322名
女性会員	82名
合計	404名

2. 受託事業の実績（請負・委任によるもの）

受託事業件数	1,894件（前年度対比+6.5%）
就業延日人員	35,382名（前年度対比+0.4%）
契約金額	150,618,990円（前年度対比+2.6%）
会員就業率	84.9%（前年度対比-0.6P）

3. 普及啓発活動

センター事業が、市内全域に拡大・発展するよう、啓発リーフレットを計2回市内の全世帯及び事業所等に配布して、一般家庭、事業所等への就業開拓活動を行なうとともに、スーパーマーケット等において会員募集チラシの配布並びにホームページの充実や市主催の元気ウィークに参加するなどして、啓発活動を行ないました。

4. 社会参加活動等

小学校児童の下校時における立哨活動や、元気ウィークでの市民交流センターにおけるポン菓子無料配布などを通じて世代間交流を図るなど、積極的に地域社会に貢献いたしました。

5. 安全就業の推進

「安全就業は、センター事業の最重要課題」という認識のもと、安全・適正就業委員及び推進員が、就業現場へ安全パトロールを行ったり、職員による現場巡視を頻繁に行うことなどにより、事故防止に向けた対策を検討し実施いたしました。

また、交通事故防止のため、ドライビングコンテスト(安全運転コンテスト)に会員6名が参加し、自動車の運転技術向上や交通法規の再認識

並びに安全運転への意識付けなどに努めました。

6. 労働者派遣事業の推進

適正就業の推進並びに多様化する就業ニーズに対応するため、従来からの請負・委任契約による就業に加え、労働者派遣事業を活用して就業機会の拡大と地域社会の活性化を図りました。

派遣事業の実績としましては、受注件数は22件で、延べ3,824人日就労し、契約金額は前年比8.1%増の18,851,751円となりました。